

(その三)

工場又は事業場の名称	株式会社ワノテックジャパン 第一工場
------------	-----------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
5	1	2	1						

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

トリクレン吸着機の故障を未然に防いで、機械本来の能力を維持継続していく。
ふた閉めをこまめに行い、揮発量を抑える工程管理を行う。

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
5	1	2	1						



(その三)

工場又は事業場の名称	日清紡ケミカル株式会社 旭事業所
------------	---------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
1 1	5 1								

その他(1 9, 2 9, 3 9, 4 9, 5 9, 9 9)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策 1 : 非溶剤系塗料の選択

---

対策 2 : 吸着式処理装置による排出抑制(設備の維持・管理を強化)

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
1 1	2 9	9 9	3 9	5 1					

(その四)

工場又は事業場の名称	日清紡ケミカル株式会社 旭事業所
------------	---------------------

3 基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) 基準年度における処理回収率等

	基準年度				
	平成13年度				
使用量 (kg/年度) (1億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。)	1	2	0	0	0
					0
					×10
排出等の量 (kg/年度)			3	1	0
					0
処理回収率 (%)				9	7

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数(基)

--	--	--	--

備考

- この項の提出は任意であること。
- 基準年度は、2(1)の基準年度と一致させること。
- 使用量及び排出等の量は、2(1)の基準年度におけるものと一致させること。
- 処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。  

$$\{ (\text{使用量} - \text{排出等の量}) / \text{使用量} \} \times 100$$

(2) 基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
1	1	2	9	9	9				

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策1: メチクロの事業所内使用禁止 (IS014001目標 達成済み)
対策2: 発泡機洗浄作業変更 (低揮発性溶媒へ)
: 中止 (保全時ホースは廃棄)
対策3: 塗装必要な商品の生産販売中止

備考 この項の提出は任意であること。





(その三)

工場又は事業場の名称	双葉電子工業株式会社 長生工場
------------	--------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1) の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
1 1	3 4	9 1							

その他（19, 29, 39, 49, 59, 99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1) の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
1 1	2 9	3 4	9 1						

(その三)

工場又は事業場の名称	二宮産業株式会社 長南工場
------------	------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 2	2 1	2 2	2 9	3 3	9 1				

その他 (1 9, 2 9, 3 9, 4 9, 5 9, 9 9) を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

課題：顧客の増産要求に応えなければならず、市場により変動する。

対応 ① ハイゾリッド塗料の再開発により開始・シンナー排出量の削減

② メラミン（焼き付け塗料）をウレタン塗料に顧客依頼により排出量削減

③ 千種工場部品ライン改築により部品塗装増により変動する

④ 顧客にメラミン塗装からウレタン塗料に変更依頼し排出量削減

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 2	2 1	2 2	2 9	3 3	9 1				



(その三)

工場又は事業場の名称	株式会社 ジャパンディスプレイ 茂原工場
------------	-------------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
5	4	2	9	3	4	5	6		

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

29 : 工程管理による手法 その他
(1) 塗布剤の吐出量削減。
(2) 塗布剤の洗浄液(シンナー)使用量、交換頻度減。

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
5	4	3	4	1	1				

(その三)

工場又は事業場の名称	TOTOハイリビング株式会社 茂原工場
------------	------------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1) の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
1 2	2 1	2 2	9 1						

その他（19，29，39，49，59，99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1) の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
1 2	2 1	2 2	9 1						

(その三)

工場又は事業場の名称	三井化学株式会社 茂原分工場
------------	-------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2   2	3   3	5   2	5   4						

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。


備考 3 (2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2   2	3   3	5   2	5   4						

(その四)

工場又は事業場の名称	三井化学株式会社 茂原分工場
------------	-------------------

3 基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策  
 (1) 基準年度における処理回収率等

	基準年度	
	平成16年度	
使用量 (kg/年度) (1億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。)	5 7 0 0 0 0 0 0	×
排出等の量 (kg/年度)	4 6 0 0 0	
処理回収率 (%)	1 0 0	.0

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数(基)

0
---

備考

- この項の提出は任意であること。
- 基準年度は、2(1)の基準年度と一致させること。
- 使用量及び排出等の量は、2(1)の基準年度におけるものと一致させること。
- 処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。  
 $\{(使用量 - 排出等の量) / 使用量\} \times 100$

(2) 基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
2	2	3	3	5	2	5	4		

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。


備考 この項の提出は任意であること。

工場又は事業場の名称	株式会社 藤田製作所 本社工場
------------	--------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2	1	9	1						

その他 (1 9, 2 9, 3 9, 4 9, 5 9, 9 9) を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。


備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2	1	9	1						



(その三)

工場又は事業場の名称	日本ペイント・インダストリアル コーティングス(株)千葉工場
------------	-----------------------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 1	1 3	2 1	3 1	9 1	1 2				

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---

備考 3 (2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 1	1 3	2 1	3 1	9 1	1 2				

(その四)

工場又は事業場の名称	日本ペイント・インダストリアル コーティングス(株)千葉工場
------------	-----------------------------------

3 基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) 基準年度における処理回収率等

	基準年度						
	17年度						
使用量 (kg/年度) (1億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。)	1	4	0	0	0	0	0
				× 1 0			
排出等の量 (kg/年度)			6	2	0	0	0
処理回収率 (%)			1 0 0				

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数(基)				
---	--	--	--	--

備考

- この項の提出は任意であること。
- 基準年度は、2(1)の基準年度と一致させること。
- 使用量及び排出等の量は、2(1)の基準年度におけるものと一致させること。
- 処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。  

$$\{ ( \text{使用量} - \text{排出等の量} ) / \text{使用量} \} \times 100$$

(2) 基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
2	1								

その他(1 9, 2 9, 3 9, 4 9, 5 9, 9 9)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

<div style="border-top: 1px dashed black; border-bottom: 1px dashed black; height: 20px;"></div> <div style="border-top: 1px dashed black; border-bottom: 1px dashed black; height: 20px;"></div> <div style="border-top: 1px dashed black; border-bottom: 1px dashed black; height: 20px;"></div> <div style="border-top: 1px dashed black; border-bottom: 1px dashed black; height: 20px;"></div> <div style="border-top: 1px dashed black; border-bottom: 1px dashed black; height: 20px;"></div> <div style="border-top: 1px dashed black; border-bottom: 1px dashed black; height: 20px;"></div> <div style="border-top: 1px dashed black; border-bottom: 1px dashed black; height: 20px;"></div> <div style="border-top: 1px dashed black; border-bottom: 1px dashed black; height: 20px;"></div> <div style="border-top: 1px dashed black; border-bottom: 1px dashed black; height: 20px;"></div> <div style="border-top: 1px dashed black; border-bottom: 1px dashed black; height: 20px;"></div>
---

備考 この項の提出は任意であること。









(その四)

工場又は事業場の名称	河村産業株式会社 かずさ工場
------------	-------------------

3 基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) 基準年度における処理回収率等

	基準年度			
	平成16年度			
使用量 (kg/年度) (1億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。)			7 7 0 0	.
			× 1 0	
排出等の量 (kg/年度)			6 8	.
処理回収率 (%)			9 9	.

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数(基)

--	--	--	--	--

備考

- 1 この項の提出は任意であること。
- 2 基準年度は、2(1)の基準年度と一致させること。
- 3 使用量及び排出等の量は、2(1)の基準年度におけるものと一致させること。
- 4 処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。  

$$\{ (\text{使用量} - \text{排出等の量}) / \text{使用量} \} \times 100$$

(2) 基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
5	6								

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。


備考 この項の提出は任意であること。

(その三)

工場又は事業場の名称	日本ドラム株式会社 富津工場
------------	-------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 1	2 2	2 3	2 9	3 1	3 3	3 9	5 1	9 1	9 9

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

昨年と同様に炭化水素除去装置・密栓型塗装ブース・オートカラーチェンジャー・塗装焼付型炉・ホットエアレス塗装方式により揮発性有機化合物の排出量を50%以上の削減を実施しております。
目標年度の削減策定について
前年度の削減策定において、揮発性有機化合物に該当しない薬品を使用する事で、今年度は、目標年度に対し約5%以上の削減率を達成する事が出来ました。
毎年、製品生産の増加に伴い使用量と排出量の低減が極めて難しいですが、今まで以上に削減対策に尽力を尽くして参ります。

備考 3(2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 1	2 2	2 3	2 9	3 1	3 3	3 9	5 1	9 1	9 9

(その四)

工場又は事業場の名称	日本ドラム株式会社 富津工場
------------	-------------------

3 基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策  
(1) 基準年度における処理回収率等

	基準年度					
	19年度					
使用量 (kg/年度) (1億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。)		6	5	0	0	0
		× 1 0				
排出等の量 (kg/年度)		3	3	0	0	0
処理回収率 (%)		4		9		

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数(基)

--	--	--	--	--

備考

- この項の提出は任意であること。
- 基準年度は、2(1)の基準年度と一致させること。
- 使用量及び排出等の量は、2(1)の基準年度におけるものと一致させること。
- 処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。  

$$\{ (使用量 - 排出等の量) / 使用量 \} \times 100$$

(2) 基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10									
2	1	3	1	3	3	3	9	5	1	9	1	9	9					

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

平成18年10月の工場設立時から炭化水素除去装置・密閉型塗装ブース・オートカラーチェンジャー・塗装焼付山型炉・ホットエアレス塗装方式を設置し、操業と同時に50%以上の揮発性有機化合物の削減を実行しています。

備考 この項の提出は任意であること。







(その三)

工場又は事業場の名称	株式会社荏原製作所 袖ヶ浦事業所
------------	---------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
5	1								

その他 (19, 29, 39, 49, 59, 99) を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---



---

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策 10
5	1								

(その三)

工場又は事業場の名称	東洋スチレン株式会社 君津工場
------------	--------------------

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
3	2	5	3						

その他 (19, 29, 39, 49, 59, 99) を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

--

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
3	2	5	3						

(その四)

工場又は事業場の名称	東洋スチレン株式会社 君津工場
------------	--------------------

3 基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策  
(1) 基準年度における処理回収率等

	基準年度			
	平成12年度			
使用量 (kg/年度) (1億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。)	1	4	×10	8
排出等の量 (kg/年度)			150	
処理回収率 (%)			100	

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数(基)			

備考

- この項の提出は任意であること。
- 基準年度は、2(1)の基準年度と一致させること。
- 使用量及び排出等の量は、2(1)の基準年度におけるものと一致させること。
- 処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。  
 $\{(使用量 - 排出等の量) / 使用量\} \times 100$

(2) 基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせる場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
3	2	5	3						

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。


備考 この項の提出は任意であること。